

ハナショウブの育て方

梅雨どきにハナショウブの花が咲き乱れる様子はたいへん美しいものです。浅い池や水田などで栽培されることが多いようですが、鉢作りで十分育て、楽しむことができます。

植え方

鉢 6～8号駄温鉢（1，2篠植え）

用土 田土または畑土，赤玉土など（腐葉土と鹿沼土は不適），粗い砂利

時期 花が咲き終った直後から7月中旬まで，または9月中旬

方法 鉢底に粗い砂利を $\frac{1}{3}$ ほど敷き，用土を入れる。芽が伸びる方向を広くとって苗の位置を決め，根を広げ根茎がわずかにかくれる程度に浅く植え付けます。植え付け後，苗が倒れないよう添え木をし，腰水（水深3～5cm）して，吸水させます。

置き場

半日以上日が当たるところに置き，10月まで腰水栽培します。

肥料

8月中～下旬に油カスと骨粉を等量混合したもの（茶さじ4～5杯）を置き肥します。

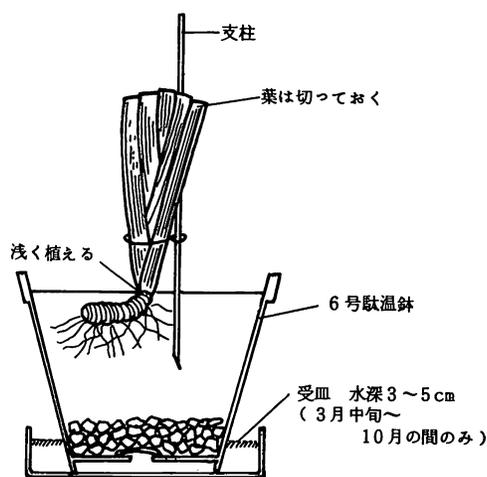
9月～10月に液体肥料を1～2週間おきに与えます。

冬の管理

寒さに強いので特別な保護を必要としませんが，鉢土を乾かさないようにします。

株分け，植え替え

3年に1回行います。根についた土を落とし株の根元を持ち両手で引き分け，1株ずつにします。分けた苗は葉を20cm程度残し切りつけてから植え付けます。



鉢植えの仕方

鉢植えに向く品種

系統	特徴	品種	花色	咲き方など
江戸系	性質が強く，花茎が長く伸びて咲く。露地植え品種が多い。	有馬川（ありまがわ）	純白大輪	三英，中生
		江戸川（えどがわ）	濃紫色，大輪	三英，中生
		鶴の毛衣（つるのけごろも）	白色	三英，平咲き，中生
		八咫の鏡（やたのかがみ）	薄藤色地，砂子紋り	六英，中生
肥後系	江戸系をもとに肥後（熊本）で改良されたもの。鉢植え向き品種が多い。花は雄大で豪華である。	天晴（あっぱれ）	紅色地，弁元白	六英，中生，大輪
		秋の錦（あきのにしき）	濃紫紅色，白太筋	三英，中生，大輪，強健
		石橋（しやくきょう）	濃紅紫色	六英，早～中生，巨大輪
		神楽獅子（かぐらじし）	濃小豆色	シン咲き，晩生
		雲井の雁（くもいのかり）	白地，紅覆輪	六英，中生
		殊勝（しゅしょう）	白地，紺覆輪	六英，中生
伊勢系	伊勢地方で改良されたもの。花卉が下に垂れる。	雪燈籠（ゆきどうろう）	純白色	八重牡丹咲き，早生，巨大輪
		青柳（あおやぎ）	藤紫色地に青筋紋り	三英，中生，中輪
		明石（あかし）	薄桃色	三英，早生
		伊勢菅（いせはまれ）	青紫色，白筋入	三英，中生
		神路の雪（かみじのゆき）	純白，大輪	三英，中生

